大館市政だより
第四十四号
毎月1回発行
発行所 秋田県大館市 大館市役所
編集兼発行人 田村正六

＝市勢の発展をもたらす＝

三十二年度一般会計予算三億九千萬円

新市建設 火災復興 事業等の促進を図る

大館市議会三月定例会は去る十二日から三十日まで、市議会議事堂で開会されました。上程議案（別表）は六十七件を数え市長は合併三年目、財政再建特別措置法適用二年目を迎えた昭和三十二年度予算の提出に当つては、本市の財政事情、再建計画等を充分に考慮に入れ、消費的経費の徹底的な節減を図り、財政の建直しと共に、新市建設計画、火災復興等の事業を積極的に促進したい。また単年度（昨年度）予算だけを見ると六、七百万円程度の黒字になつたが不幸にして昨年の大火災により逆に二千万円程度の赤字が生ずるのではないかと…。その所信を明らかにすると共に予算の方針について次のような説明を行いました

三月定例予算議会終る

【写真】……重要案件を審議中の議場……

施政方針要旨

才入の根幹，税收

＝一億四千四百十二万円＝

才入においては総額三億九千十二万一千六百八十円でございます。

才入の根幹をなす、市税でございますが、本予算に一億四千四百十二万一千円を見込んであります。税制の改革、その他起債の減收、色々ございまして検討した結果でございますが、この問題について政府で現在考えておるところの税制改革等の問題から色々検討致しますと、多少減收になるのではないかと考えられますが、その他の増になる部分を詳細に検討してみますと、大体この程度のものは確保出来るのではないかと考えて居ります。

交付税については今年は約七千万円以上の交付税を獲得致したいと思つていますが、本予算には一般交付税、特別交付税合せて六千四十万一千円みております。これはむしろこれよりも多少増になるのではないかと考えて居ります。

財産収入は一千二百四十万三千円を見込んでありま す。分担金、負担金は四十一万五千六百三円、使用料手数料八百七十八万八千円国庫支出金九千六百八十六万円これが急激に出てきましたのは主として火災復興事業のためのものでありま す。県支出金一千八百四十八万八千円、これも国庫支出金と同様に、災害復興の補助金でございます。

寄附金の二百十万五千円は消防ポンプを購入する地元負担金、繰入金は零、雑収入は九百六十三万六千円地元債は区画整理の分の起債、或は災害住宅、六、三制学校施設の起債等であります。

この中で問題になりますのは、過大の見積りをしておらないかどうかということでございますが、この点について多少説明をつけ加えたいと思います。

市税、交付税については大体予算程度のものは確保出来ると考えています。財産収入は今まで処分してつてくる確実なものを見込んでおります。分担金、使用料、手数料、国庫支出金これは事業についてくる災害事業の補助金でありますから、確実に獲得出来ると思います。

県支出金についても同様でございます。このうち最終的な問題になりますのは地方債でございます。

今年度の地方債は災害復興費と致しまして、国の予備金から支出されておりますが、それに対する起債は全額獲得されておりますしかし乍ら三十二年度の火災復興事業費は現在自己負担分に対するものが一般都市計画事業と同じように五割の起債しか一応見込まれない訳で、従つて自己負担分に対する起債は大体一千二百万円であります。この半分の六百万円程度が地方債として許可にならないというふうに、かたく見積ればそういうことになりますが、必ずしも五割しか来ないというものでなく、いろいろ運動のしかたによつては、それをオーバーする訳で、一応予算の編成には全額起債に見ておりまして一千二百万円をその中に含んでおります。従つて約六百万円ばかり財政欠陥として将来出てくる数字であろうと思われます。この中に含まれております大きなものは、災害住宅七百二十万円の起債でございます。災害住宅の分については全額くることになつておりますので心配ないと思つておりま す。

六、三制整備事業費債三百三十万円これも大体確保出来る予定でございましてこの才入だけから考えて見ますれば、約六百万円程度の過大見積がある訳でありま す。

消費的經費の節減

補助
単独 事業総額一億四千万円

才出におきましては消費的なものと投資的なものとに分けますと、出来るだけ消費的な経費を節約致しまして、投資的な経費に廻すのは当然でございまして、私共もそれによつて方針を立てて編成を致して居ります。

消費的な経費の総額は一億八千四百二十五万九千円で、この内訳は人件費七千五百二十七万円、物件費五千七百五万六千円、その他五千二百三十四万九千円これには昇給、或は新規に消防の分遣所の設置に伴う給料、薪炭手当、期末手当等が含まれています。

投資的な経費の総額は一億四千三百二十四万九千円で、この内訳は補助事業として七千二十五万三千八百九十六円、単独事業として二千八百三十三万五千百六十四円、災害復旧事業として二千八百六十五万円、失業対策事業として一千四百六十二万六千円であります。

この中の増になつた主なるものは区画整理事業費の四千八百七十七万円、災害復旧住宅費二千百七十三万五千円、養老院二百九十一万五千円、砂利採取事業費四百十七万円で、殆んど火災復興の事業増であります。

以上が大体本予算の才入才出のあらましでありますが、最後につけ加えまして将来出てくるところの事業として、防火帯の補助があります。大体総額約六千万円程度の補助額になるのではないかと考えております。六千万円の内訳を申し上げますと、国が三千万円、県と市が残りの三千万円を折半致しまして、一千五百万円の補助になる訳でございます。

本予算には組んでおりませんけれども、将来これが支出として現われてくる訳で、これの財源が懸念される次第ですけれども、一応将来一千五百万円の補助が出てくるとすれば二千万円程度の財政欠陥がこの予算の中に含まれておると考えられる訳であります。

二千万円の財政欠陥をどういうふうにするかと、差し当り現在考えておるところの防火帯の補助金の一千五百万円に対しては特別交付税、地方債を以て獲得して、これの財源に当てたいと考えております。

あとは防火帯を作るところの能代、魚津そういう各地区と連繋を図り、更に県に関係がありますので、秋田県、富山県等とよく連絡をとりまして、財源を交付税起債によつて獲得致したいと思つています。

これらがどうしても獲得出来ない際には、矢張り他の財源を考えなければならないと思つており、財産処分とか或はその他の財源で補塡しようと考えております。

なお行政整理その他種々の再建計画を執行してきた結果、かなり好転してきておりま す。単年度の予算だけをみますと、火災復興を除きまして六、七百万円程度の黒字になるのではないかと思いますが、不幸にして火災のために逆に二千万円程度の赤字になるという状態であります。

平年度の市の財政状態というものは、先ず何とか息をつける、単年度赤字を出さなくてもやつていけるような状態にあると考えております。只問題になるのは公債費が五千四百三十七万八千円というかなりな額にのぼり、これが火災復興等のために次第に多くなつてきた訳であり、財政計画に対するところの大きな圧迫となつてきております。

しかし乍らこの公債費は事業を丸々やつた金を返すのでありまして、これが多くなるということは決して悲観すべき状態ではないのでありまして、むしろこれだけの事業をやつてきたという証左でありますから、頑張つてこれの財政に対する圧迫を排除して、新市建設、火災復興の実を上げていきたいと考えておる訳であります。

（なお事業の概要説明は二三面に掲載しました）

市役所各課案内④

商工課

課長
竹内省三

この欄には皆様が市役所をお尋ねになられるときの参考に市役所各課室が何処にあつて、どんな仕事をどんな人員構成でやつているかを紹介して参りましたが、今回はその四回目、商工課についてお知らせいたしましょう

＝商工課＝

市役所の正面玄関を入りますと、すぐ右側に一階事務室が広がつています事務室の扉を押して中に入りますと一番手前が商工課です。

商工課には商工係、戸籍係の二係で構成されその所掌事務を大別すると

▽商工業に関すること ▽物資の配給に関すること ▽度量衡に関すること ▽観光に関すること ▽温泉に関すること ▽天然記念物に関すること ▽戸籍、住民登録並びに外国人登録及び印鑑に関することとなつています

商工課はこれら事務を処理するため事務職員九名（課定数 九名）でこれに当つています。

次の二係の事務内容についてみますと

▽商工課（事務職員五名）

①商工業の奨励、斡旋及び指導 ②商工業団体との連絡調整 ③工場の設置奨励 ④度量衡に関すること ⑤地代家賃統制令 ⑥主要食糧の配給及び業者の登録 ⑦転出入及び移動証明 ⑧貯畜奨励 ⑨発明、実用新案及び意匠等の奨励 ⑩工場設置奨励審議委員会 ⑪その他商工業に関すること ⑫観光団体との連絡調整 ⑬観光宣伝及び振興 ⑭史蹟、名勝 ⑮秋田犬の保護育成及びその他の天然記念物 ⑯温泉に関すること ⑰秋田犬専門委員会 ⑱その他観光に関すること ⑲課内の庶務に関すること。

▽戸籍係（事務職員四名）

①戸籍に関すること ②住民登録に関すること ③外国人登録 ④身分、身元に関すること ⑤印鑑証明に関すること ⑥人口動態 ⑦自衛隊員募集事務に関すること ⑧その他戸籍一般に関する事項となつています。

以上申し上げました事柄についての御用事には商工課をお尋ねになればいいわけです。

課長 竹内省三
商工係長 三ツ井孝一郎
戸籍係長 工藤与四三

商工係長
三ッ井孝一郎

戸籍係長
工藤与四三

三月定例会提出案件

◇秋田県町村非常勤消防団員公務災害補償組合を組織する地方公共団体の数の増加及び組合規約全部の改正◇大館市消防団員公務災害補償条例の廃止，◇権利不存在事件の応訴，◇昭和３２年度才入才出予算（国保恩給基金，公益質屋，上水道，温泉開発，簡易水道各特別会計，一般会計）７件，◇一時借入れ（一般，国保，上水道各会計）３件，◇災害住宅工事請負契約締結，◇市営厚生寮，公衆浴場設置のための土地売買契約，◇大館都市計画区域変更，◇授産場の廃止，設置並びに管理等に関する条例の廃止２件，◇保育園の移転，休止，条例の一部改正，◇市職員の給与条例一部改正，◇議員の報酬，費用弁償条例の一部改正，◇昭和２３年６月３０日以前に給付事由が発生した退職年金等の年額の改定条例の制定，◇旧大館，旧上川沿有給吏員退職料条例による退職料の特別措置条例の一部改正，◇市消防職員定数条例，定員，任免条例の一部改正，◇恩給基金条例の一部改正，◇水防に従事した者の公務災害補償条例の制定，◇国保条例の一部改正，◇簡易水道条例の一部改正，◇温泉条例の一部改正，◇土地改良事業調査設計委託手数料徴收条例の制定，◇市中小企業機械類貸付譲渡条例の制定，◇市営大滝温泉公衆浴場条例の一部改正◇市営厚生寮条例の一部改正，◇昭和３１年度才入才出 予算の追加更正（一般会計，特別会計５件）◇釈迦内小老朽校舎改築事業費，災害住宅建設事業費並びに過年度復旧事業費，失業対策事業費，災害復旧第二種公営住宅建設費火災復興都市計画事業費，火災復興土地区画整理事業費，道路事業費負担金，川口小老朽改築事業費他１件災害復旧土木事業費 上水道事業費他１件各起債及び償還方法について，◇特別会計設定（青果卸売市場）◇昭和３２年度特別会計青果卸売市場才入才出予算，一時借入れ，青果卸売市場設置による土地売買契約締結，◇土地交換，◇上水道事業費継続年期及び支出方法書変更，◇昭和３１年度都市計画火災復興大館土地区画整理，都計駅前土地区画整理，災害住宅第二種中層耐火新築工事各予算の繰越使用について，◇指名競争入札についての同意（労災病院大滝線橋梁架設工事）◇財政再建計画の変更について。